

環境省	
ベビーカーなど追加	
一 廃の広域認定制度	
環境省は一般廃棄物の広域認定制度の対象品目に廃乳母車（ベビーカー）、廃乳幼児用ベッド（ベビーベッド）、廃幼児用補助装置（チャイルドシート）、廃衣類等を追加する。	再生利用が進むとして、廃衣類等は原料価格の低下による古繊維市場の衰退、ファストファッションなどの流行による安価な製品の増加、合成繊維は繊維としての再生利用は困難などの理由がある。
ベビーカーなどは一般的に粗大ごみとして破砕後に処分されているため、広域認定制度に追加することで再資源化に適した製品設計	衣類の製造事業者などが効率的な再生利用のスキームづくりを進めていることもあり、対象品目に追加する。